

医療に関する県民意識調査の集計結果について

1 調査目的

新型コロナウイルス感染症の流行を経験し、医療提供体制の在り方について改めて見直しが求められる中、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の県民の保健医療に対する認識や意見を把握するとともに、安全で安心できる医療体制や質の高い医療提供体制の整備を図るための基礎資料を作成するため、県民を対象とした意識調査を実施しました。

2 調査概要

調査地域	三重県全域
調査対象	県内居住の満18歳以上の男女
標本数	5,000人
抽出方法	選挙人名簿から層化無作為抽出
調査法	郵送法（調査票の回収は、記入した調査票の返送またはインターネット上での回答）
調査時期	令和5年10月から同年11月
有効回答数	2,276人（45.5%）

3 調査票（質問内容）について

質問項目は過去の調査実績や回答者の負担を考慮し、14問とし、①地域医療に関するあなたの意識について、②コロナ禍前後での地域医療に関するあなたの意識について、③お住いの地域で期待する医療について、調査しました。調査票は別紙2のとおりです。

4 調査結果

有効回答数は2,276人（有効回答率45.5%）でした。（郵送1,724人、オンライン552人）

②コロナ禍前後での地域医療に関するあなたの意識について、③お住いの地域で期待する医療についての回答結果は別紙1のとおりでした。

5 今後の対応

回答結果については、地域医療構想等において地域の医療に関する協議や情報共有を図るうえでの参考資料として取り扱い、より県民目線での政策医療の実現ができるよう取り組めます。

令和 5 年度医療に関する県民意識調査 集計結果

令和 6 年 3 月
医療政策課

〈目 次〉

調査概要	2
調査地域区分と地域別標本数	3
回答者の属性	3
1. 地域の医療機関の情報の入手のしやすさについて	4
2. 夜間や休日における対応について	6
3. 医療機関の役割分担について	8
4. コロナ禍を通じた地域医療に対する関心度の変化について	10
5. コロナ禍前と比較した医療機関を受診する回数の変化について	12
6. 受診回数が減った理由について	14
7. 健康診断等の受診状況の変化について	16
8. 受診状況の変化について	18
9. 地域の医療に対する満足度について	20
10. 地域医療において重視することについて	22

【調査概要】

- (1) 調査地域：三重県全域
- (2) 調査対象：県内居住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数：5,000人
- (4) 抽出方法：選挙人名簿から層化無作為抽出
- (5) 調査法：郵送調査、オンライン調査
- (6) 調査期間：令和5年10月～令和5年11月
- (7) 有効回答数：2,276人（有効回答率45.5%）（郵送1,724人、オンライン552人）
- (8) 調査項目：
 - ①地域医療に関するあなたの意識について
 - ②コロナ禍前後での地域医療に関するあなたの意識について
 - ③お住まいの地域で期待する医療について

【調査地域区分と地域別標本数】

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率(%)	構成比(%)
桑員	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	601	291	48.4	12.8
三泗	四日市市、菰野町、朝日町、川越町	1,055	457	43.3	20.1
鈴亀	鈴鹿市、亀山市	678	333	49.1	14.6
津	津市	766	373	48.7	16.4
伊賀	伊賀市、名張市	461	200	43.4	8.8
松阪	松阪市、多気町、明和町、大台町、大紀町	601	250	41.6	11.0
伊勢志摩	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町	644	275	42.7	12.1
東紀州	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町	194	94	48.5	4.4
不明・その他	-	-	3	-	0.1
合計		5,000	2,276	45.5	100.0

【回答者の属性】

属性	属性項目	件数	構成比			(前回差)
			今回(R5)	前回(R1)	前々回(H30)	
年齢	18～29歳	184	8.1%	5.1%	8.0%	(3.0)
	30～39歳	226	9.9%	9.1%	8.6%	(0.8)
	40～49歳	362	15.9%	16.1%	16.9%	(-0.2)
	50～59歳	474	20.8%	22.5%	18.3%	(-1.7)
	60～69歳	491	21.6%	22.6%	21.9%	(-1.0)
	70～79歳	419	18.4%	19.3%	20.1%	(-0.9)
	80歳以上	112	4.9%	5.3%	5.8%	(-0.4)
	不明	8	0.4%	0.0%	0.4%	(0.4)
地域	桑員	291	12.8%	12.0%	11.8%	(0.8)
	三泗	457	20.1%	19.1%	19.6%	(1.0)
	鈴亀	333	14.6%	14.1%	13.9%	(0.5)
	津	373	16.4%	16.0%	16.2%	(0.4)
	伊賀	200	8.8%	9.7%	9.9%	(-0.9)
	松阪	250	11.0%	12.6%	12.5%	(-1.6)
	伊勢志摩	275	12.1%	12.8%	12.1%	(-0.7)
	東紀州	94	4.1%	3.3%	3.9%	(0.8)
	不明・その他	3	0.1%	0.3%	0.3%	(-0.2)
世帯類型(※)	単独世帯	209	9.2%	8.5%	9.1%	(0.7)
	一世代世帯	689	30.3%	26.2%	27.0%	(4.1)
	二世帯世帯	1,102	48.4%	48.8%	46.2%	(-0.4)
	三世帯世帯	260	11.4%	12.5%	13.4%	(-1.1)
	その他世帯	12	0.5%	4.0%	4.3%	(-3.5)
		不明・未回答	4	0.2%	0.1%	0.1%
有効回答数		2,276	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※ 令和元年度まで実施していた「地域医療安心度調査」において、一部を同一の質問項目としていたため、比較対象としている。

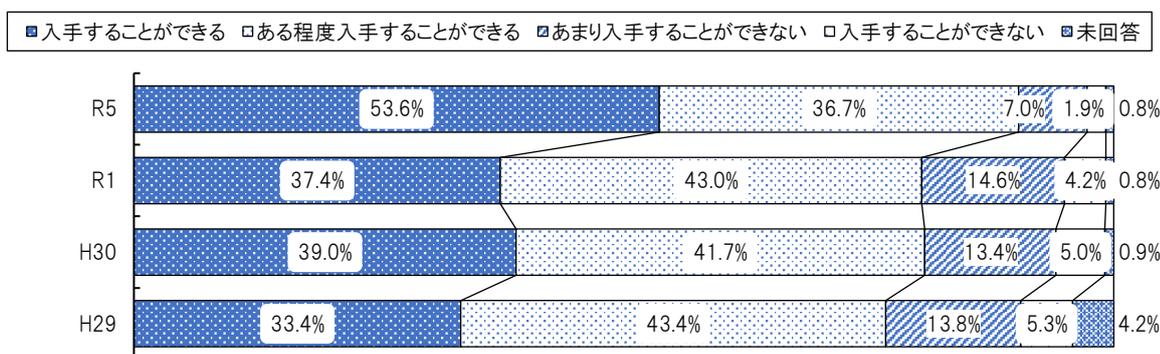
1. 地域の医療機関の情報の入手のしやすさについて

Q お住いの地域にある医療機関の診療内容や、予防接種や各種検診の実施などに関する情報等を、入手することができますか。

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率※				(前回差)
			R5	R1	H30	H29	
1	入手することができる	1,221	53.6%	37.4%	39.0%	33.4%	(16.2)
2	ある程度入手することができる	835	36.7%	43.0%	41.7%	43.4%	(-6.3)
3	あまり入手することができない	159	7.0%	14.6%	13.4%	13.8%	(-7.6)
4	入手することができない	43	1.9%	4.2%	5.0%	5.3%	(-2.3)
5	未回答	18	0.8%	0.8%	0.9%	4.2%	(0.0)

※ 令和元年度まで実施していた「地域医療安心度調査」において、同一の質問項目としていたため、比較対象としている。

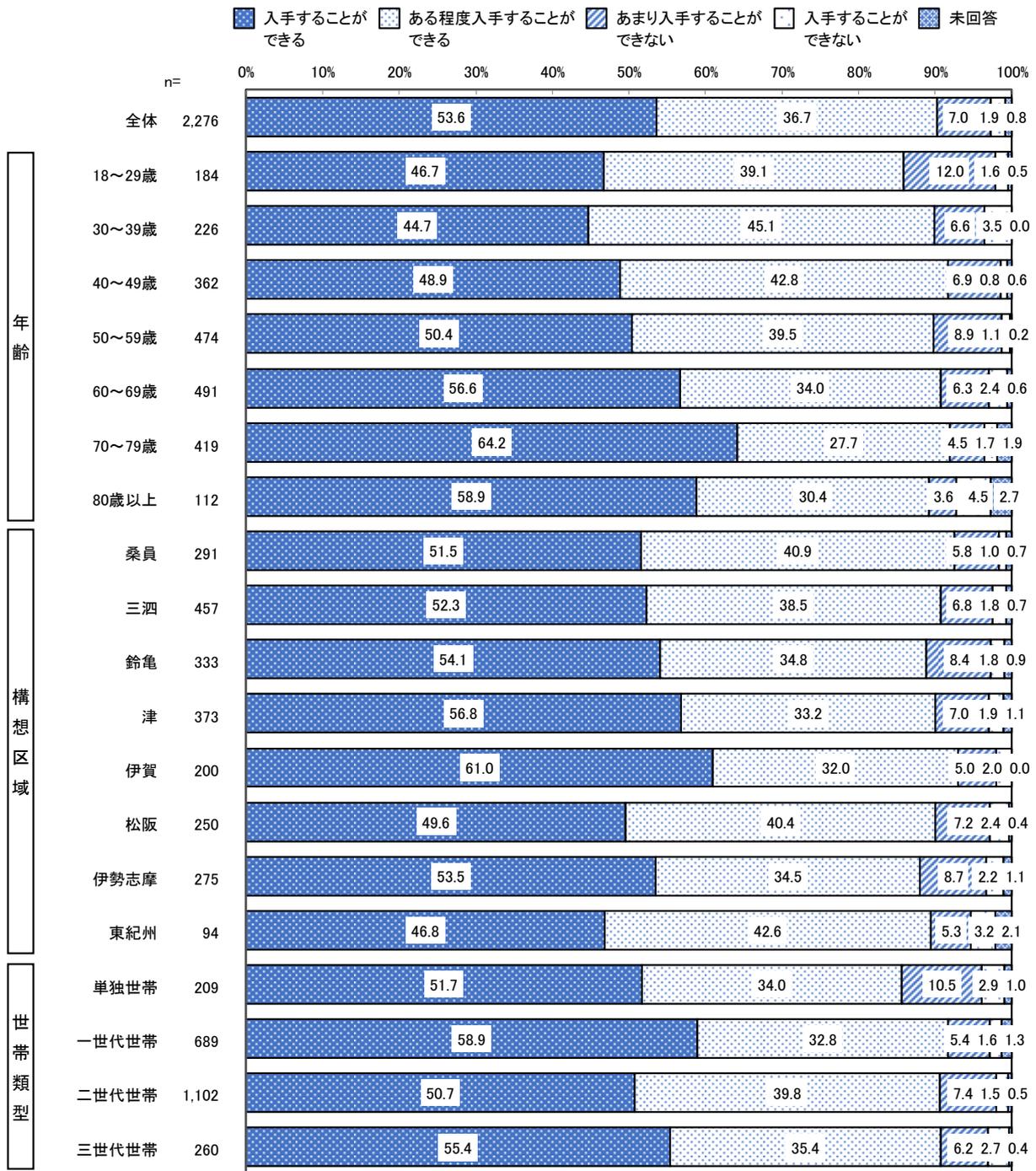


○地域の医療機関の情報の入手のしやすさについて、「入手することができる」と回答した割合は53.6%であり、前回結果と比較して16.2ポイント大幅に増加しています。また、「ある程度入手することができる」と合わせた割合についても、90.3%となり、前回結果よりも9.9ポイント増加しています。

○年齢別では、「入手することができる」の割合は30歳代以降で年代が上がるにつれて高くなる傾向があります。「入手することができる」と「ある程度入手することができる」を合わせた割合については、年代間で大きな差は見られません。

○構想区域別での「入手することができる」と「ある程度入手することができる」を合わせた割合は、大きな差は見られませんが、桑員地域が92.4%と最も高く、伊勢志摩地域が88.0%で最も低くなっています。

【地域の医療機関の情報の入手のしやすさ《属性別》】



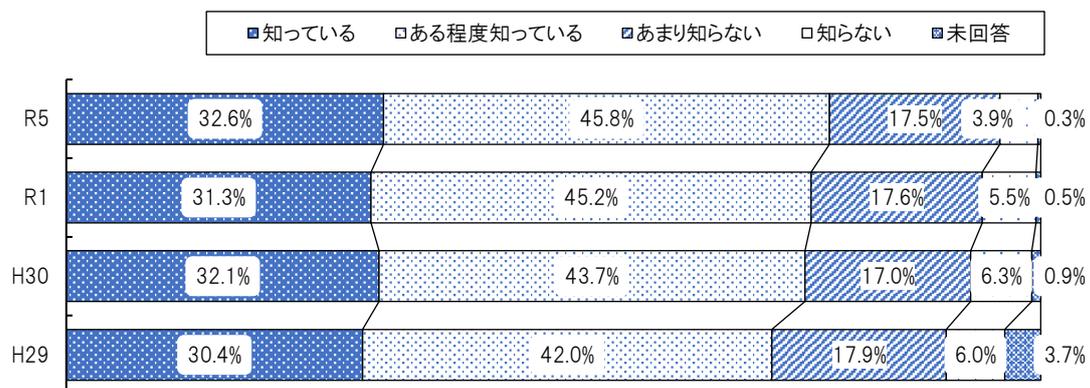
2. 夜間や休日における対応について

Q 夜間や休日に自分や家族などが急な発熱や体調不良になった場合、どのように対処すればよいか知っていますか。

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率※				(前回差)
			R5	R1	H30	H29	
1	知っている	741	32.6%	31.3%	32.1%	30.4%	(1.3)
2	ある程度知っている	1,042	45.8%	45.2%	43.7%	42.0%	(0.6)
3	あまり知らない	398	17.5%	17.6%	17.0%	17.9%	(-0.1)
4	知らない	88	3.9%	5.5%	6.3%	6.0%	(-1.6)
5	未回答	7	0.3%	0.5%	0.9%	3.7%	(-0.2)

※ 令和元年度まで実施していた「地域医療安心度調査」において、同一の質問項目としていたため、比較対象としている。

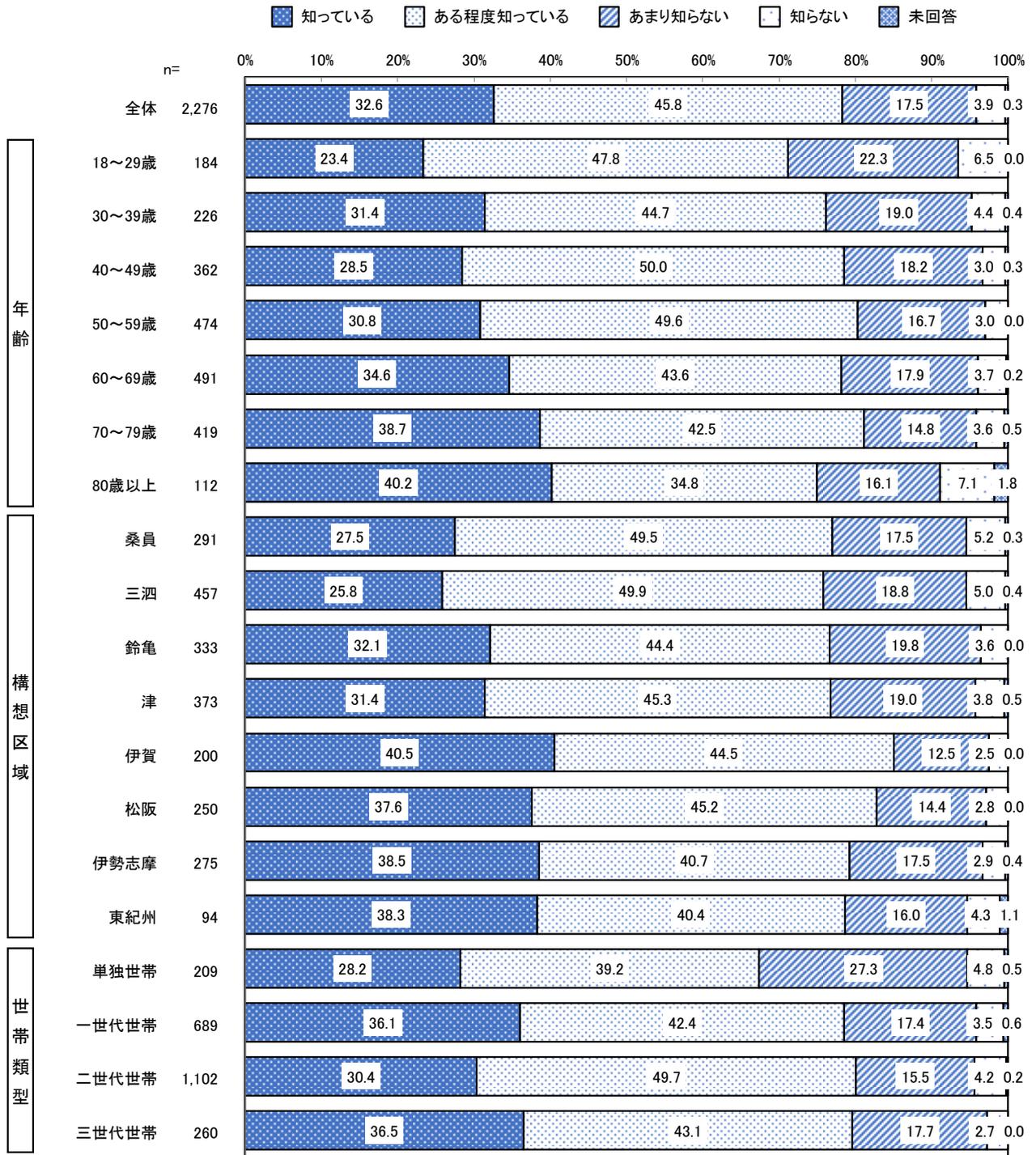


○夜間・休日の急病時の対処方法の理解度について、「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は、78.4%で、前回結果と比較して1.9ポイント増加しています。

○年齢別では、「知っている」と回答した割合が80歳以上において40.2%と最も高く、18～29歳において23.4%と最も低くなっています。「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合では70歳代が81.2%で最も高くなっています。

○構想区域別での「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は、伊賀地域が85.0%と最も高く、鈴亀地域が75.7%と最も低くなっています。

【夜間・休日の急病時の対処方法の理解度《属性別》】



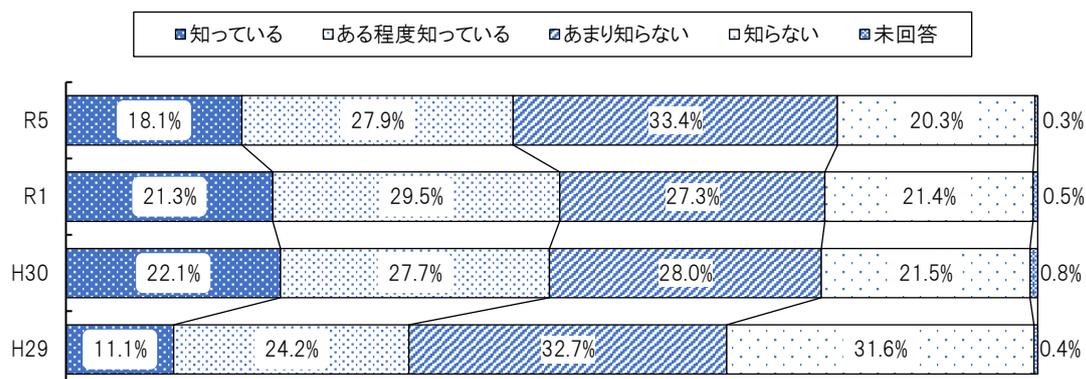
3. 医療機関の役割分担について

Q お住まいの地域にある医療機関が役割分担していることを知っていますか。

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率※				(前回差)
			R5	R1	H30	H29	
1	知っている	413	18.1%	21.3%	22.1%	11.1%	(-3.2)
2	ある程度知っている	634	27.9%	29.5%	27.7%	24.2%	(-1.6)
3	あまり知らない	760	33.4%	27.3%	28.0%	32.7%	(6.1)
4	知らない	463	20.3%	21.4%	21.5%	31.6%	(-1.1)
5	未回答	6	0.3%	0.5%	0.8%	0.4%	(-0.2)

※ 令和元年度まで実施していた「地域医療安心度調査」において、同一の質問項目としていたため、比較対象としている。

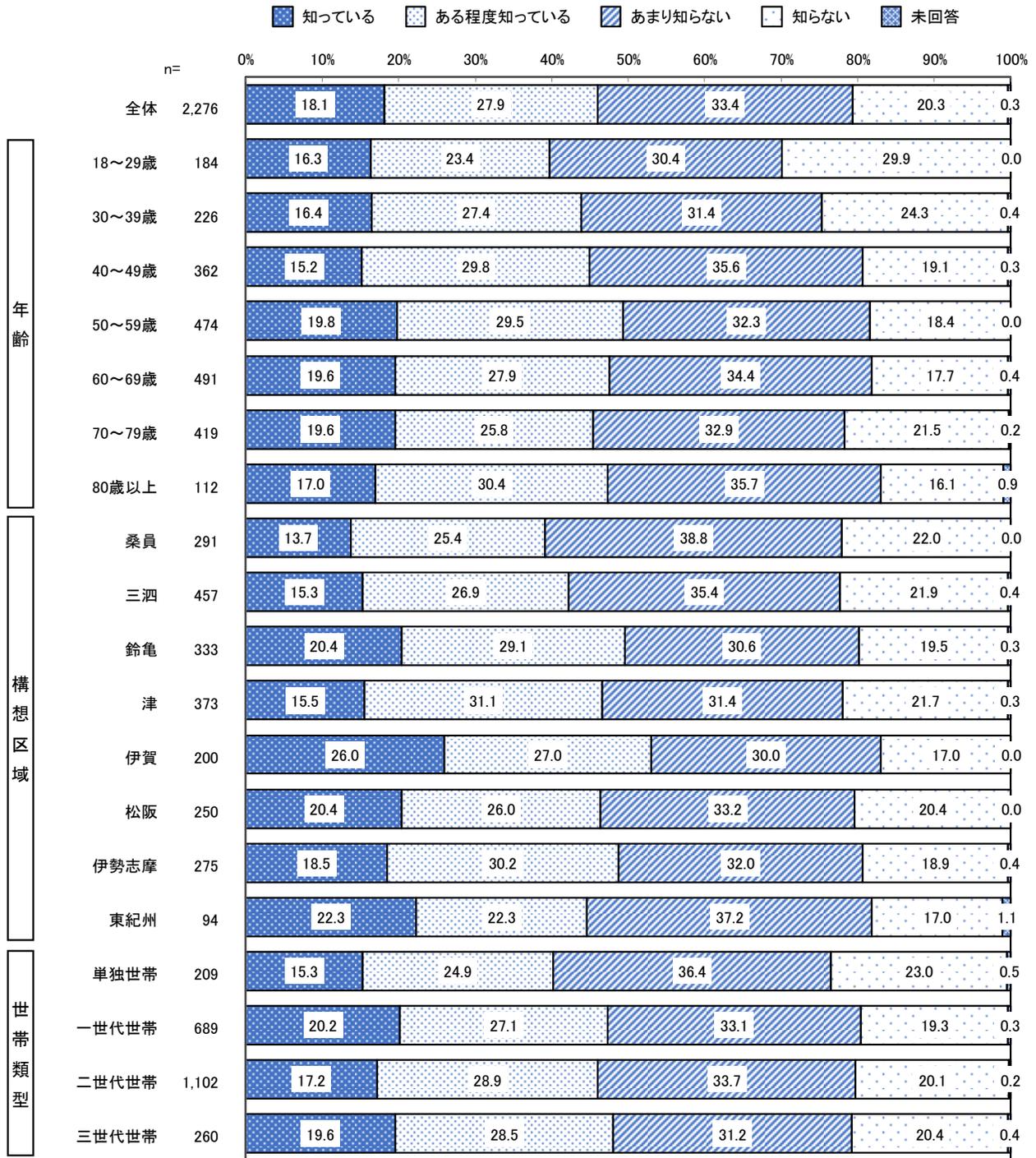


○地域の医療機関の役割分担の理解度について、「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は、46.8%で、前回結果と比較して 4.8 ポイント減少しています。

○年齢別では、「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合が、50歳代にかけて増加し、50歳代以上ではほぼ5割以上の割合となっています。

○構想区域別での「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は、伊賀地域が53.0%と最も高く、桑員地域が39.1%で最も低くなっています。

【医療機関の役割分担の理解度《属性別》】



4. コロナ禍を通じた地域医療に対する関心度の変化について

Q コロナ禍を通じて、地域の医療に対する関心度に変化はありましたか。

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率
1	元々関心があった	660	29.0%
2	元々関心がなかったが、コロナ禍を通じて関心を持つようになった	989	43.5%
3	元々関心があったが、コロナ禍を通じて関心がなくなった	61	2.7%
4	元々関心がなく、コロナ禍を通じても変化していない	545	23.9%
5	未回答	21	0.9%

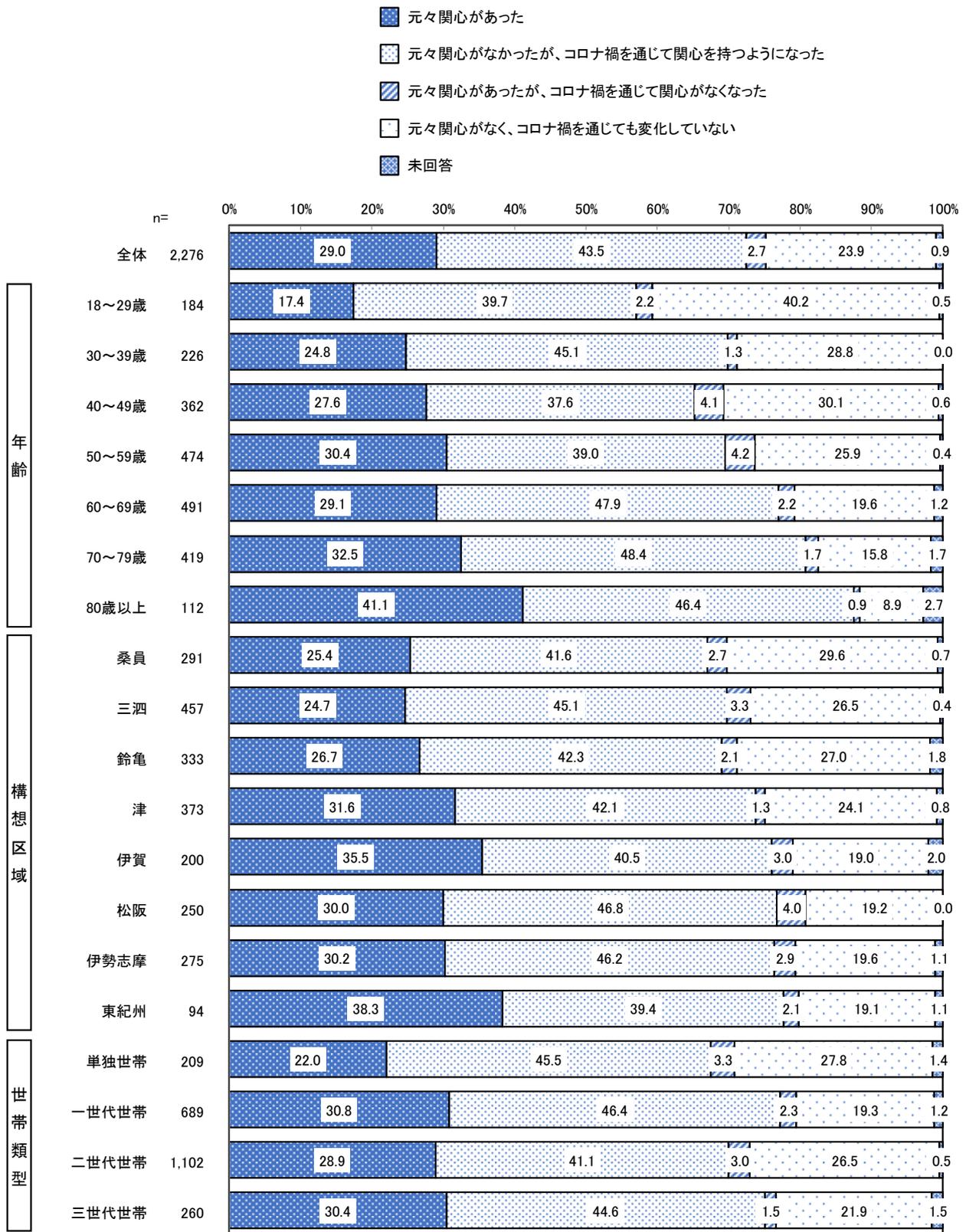
○「元々関心がなかったが、コロナ禍を通じて関心を持つようになった」の割合が43.5%と最も高くなっています。

○年齢別では、「元々関心があった」の割合は80歳代で、「元々関心がなかったが、コロナ禍を通じて関心を持つようになった」の割合は70歳代で最も高くなっています。「元々関心がなく、コロナ禍を通じても変化していない」の割合は18歳から29歳で、40.2%と最も高くなっています。

○構想区域別では、「元々関心があった」の割合が東紀州地域で38.3%と最も高く、三河地域で24.7%と最も低くなっています。「元々関心がなかったが、コロナ禍を通じて関心を持つようになった」の割合は、松阪地域で46.8%と最も高くなっています。

○世帯類型別では、単独世帯は「元々関心があった」の割合が22.0%と最も低く、「元々関心がなく、コロナ禍を通じても変化していない」の割合が27.8%と最も高くなっています。

【コロナ禍を通じた地域医療に対する関心度の変化《属性別》】



5. コロナ禍前と比較した医療機関を受診する回数の変化について

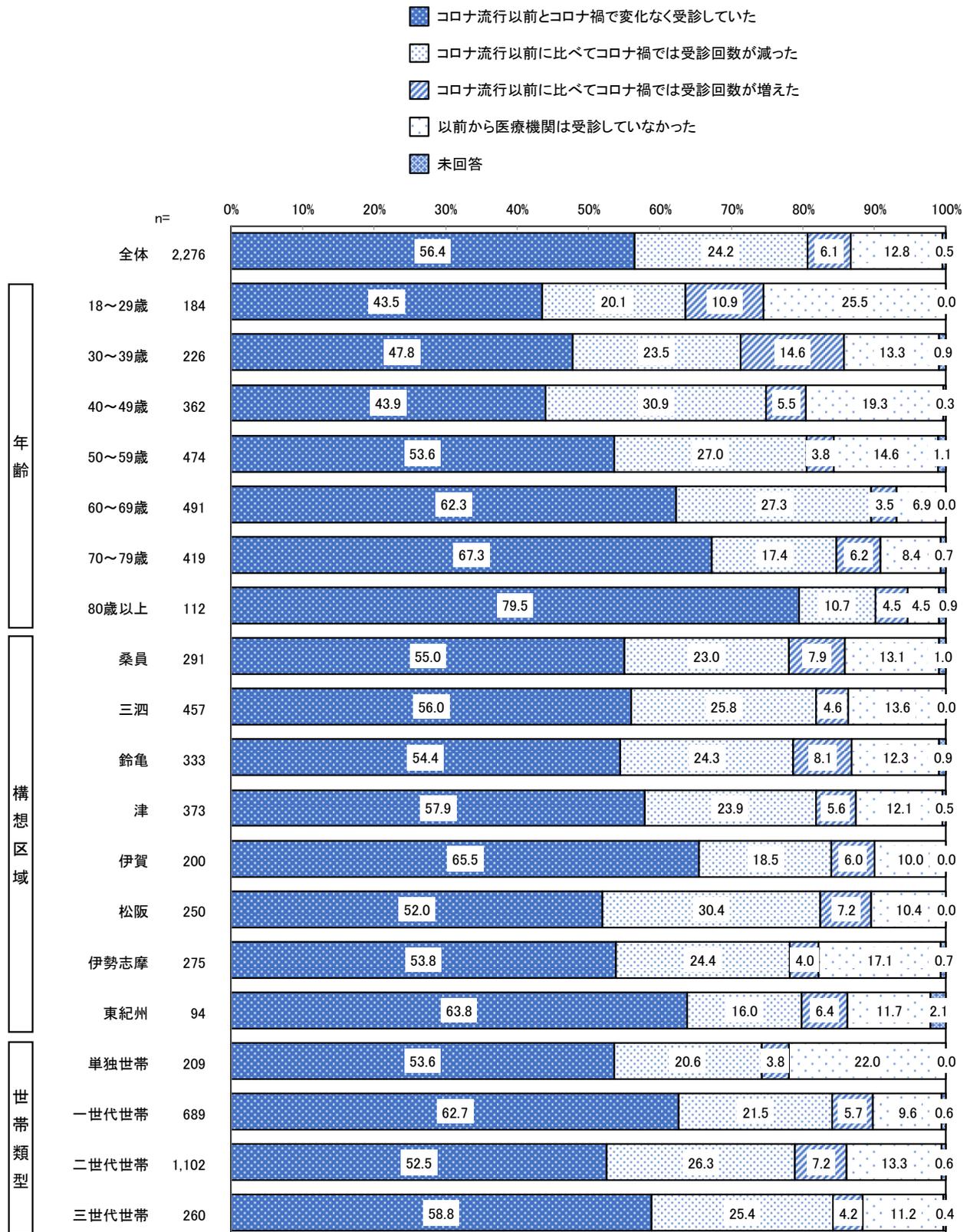
Q コロナ禍において、医療機関を受診する回数は、コロナ禍前と比べて変化がありましたか。

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率
1	コロナ流行以前とコロナ禍で変化なく受診していた	1,284	56.4%
2	コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が減った	550	24.2%
3	コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が増えた	139	6.1%
4	以前から医療機関は受診していなかった	291	12.8%
5	未回答	12	0.5%

- 「コロナ流行以前とコロナ禍で変化なく受診していた」の割合が56.4%と最も高くなっています。
- 年齢別では、「コロナ流行以前とコロナ禍で変化なく受診していた」の割合は40歳代以降で年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、80歳代では79.5%となっています。また、「コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が増えた」の割合は30歳代で14.6%と最も高くなっています。さらに、「コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が減った」の割合は40歳代で30.9%と最も高くなっています。
- 構想区域別では、「コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が減った」の割合は松阪地域で30.4%と最も高くなっています。また、「コロナ流行以前とコロナ禍で変化なく受診していた」の割合は伊賀地域で65.5%と最も高く、松阪地域で52.0%と最も低くなっています。
- 世帯類型別での「コロナ流行以前とコロナ禍で変化なく受診していた」の割合は、一世代世帯が62.7%となっていますが、二世帯世帯では52.5%であり、10ポイント以上の開きがあります。

【コロナ禍前と比較した医療機関を受診する回数の変化《属性別》】



6. 受診回数が減った理由について

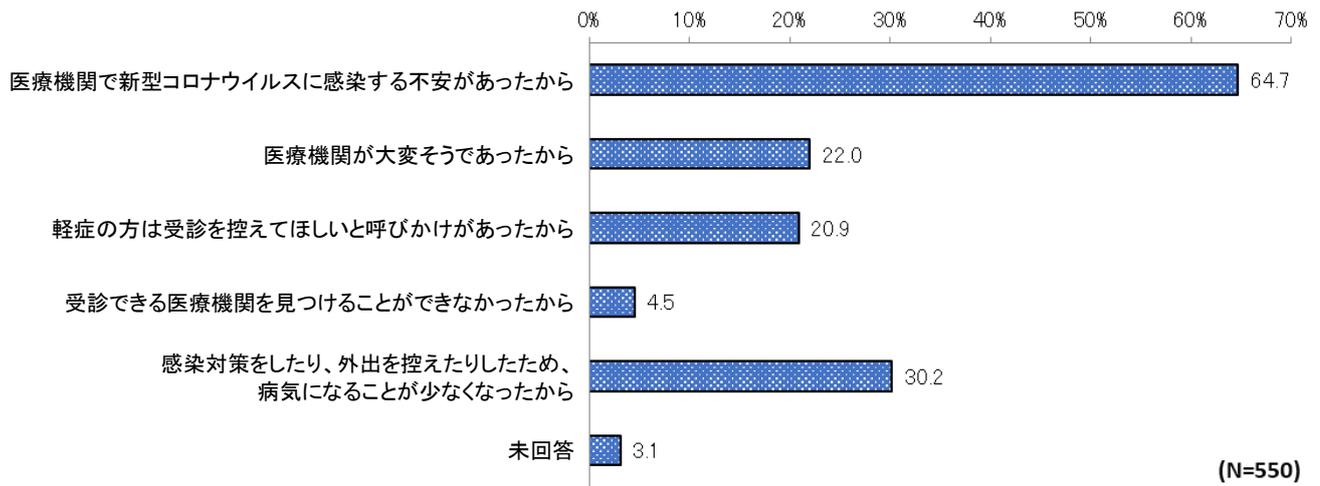
Q 前問で「2 コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が減った」と回答した方にお聞きします。受診回数が減った理由は何ですか。（2つまで選択可）

(n=550)

	選択肢	回答数	回答率
1	医療機関で新型コロナウイルスに感染する不安があったから	356	64.7%
2	医療機関が大変そうであったから	121	22.0%
3	軽症の方は受診を控えてほしいと呼びかけがあったから	115	20.9%
4	受診できる医療機関を見つけることができなかったから	25	4.5%
5	感染対策をしたり、外出を控えたりしたため、病気になることが少なくなったから	166	30.2%
6	未回答	17	3.1%

- コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が減った理由について、「医療機関で新型コロナウイルスに感染する不安があったから」が64.7%と最も高くなっています。また、「感染対策をしたり、外出を控えたりしたため、病気になることが少なくなったから」の割合が30.2%と2番目に高くなっています。
- 「受診できる医療機関を見つけることができなかったから」の割合は4.5%で最も低くなっています。
- 「医療機関が大変そうであったから」と「軽症の方は受診を控えてほしいと呼びかけがあったから」は、いずれも2割程度となっています。

【受診回数が減った理由】



7. 健康診断等の受診状況の変化について

Q コロナ禍において、健康診断、人間ドッグ、がん検診、特定健診等の受診状況に変化はありましたか。

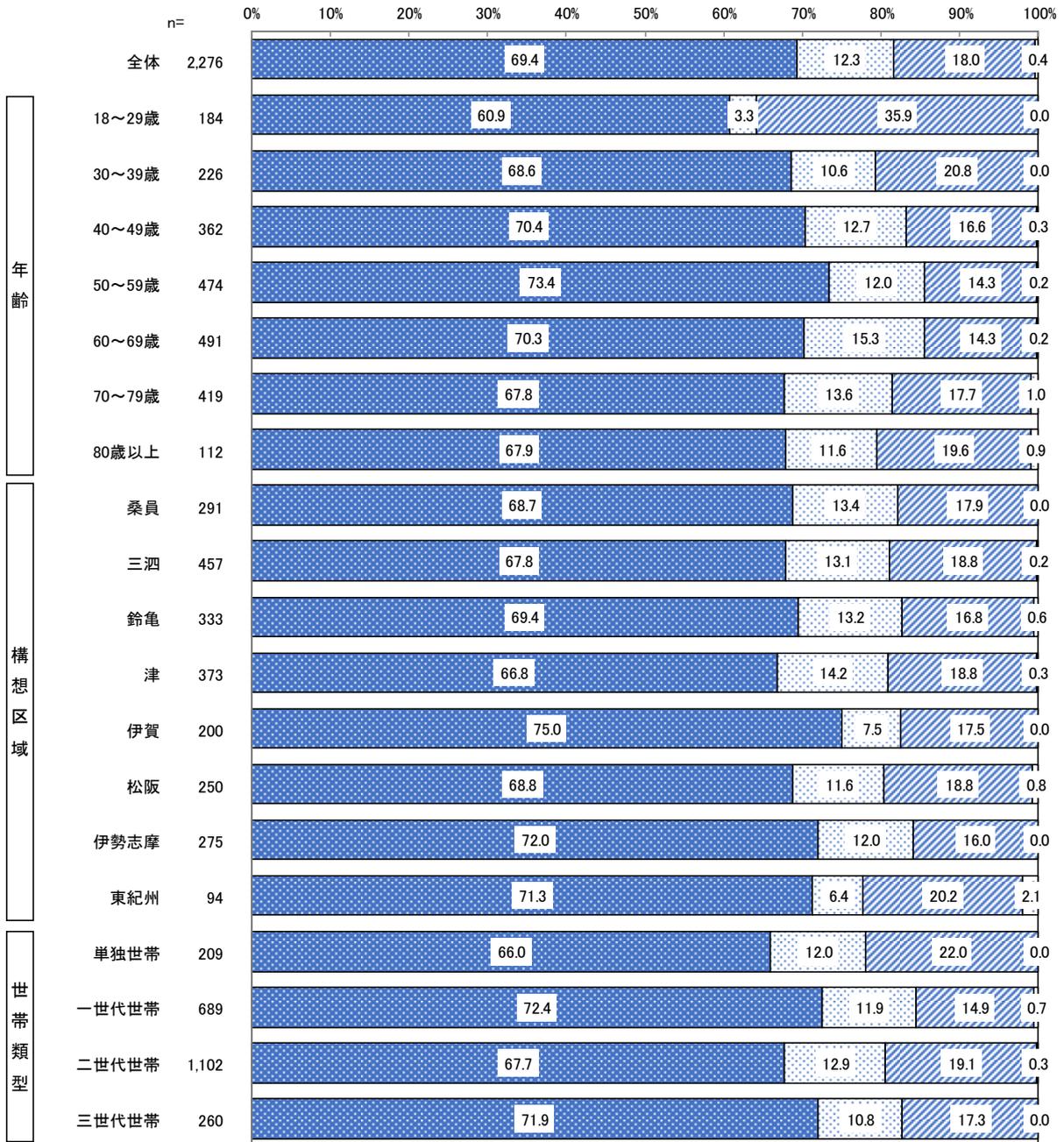
(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率
1	例年どおり受診した	1,580	69.4%
2	例年受診していたが、コロナ禍では受診を控えていた	279	12.3%
3	例年受診しておらず、コロナ禍も受診していない	409	18.0%
4	未回答	8	0.4%

- 健康診断等の受診状況の変化について、「例年どおり受診した」の割合が69.4%と最も高くなっています。
- 年齢別では、18歳～29歳を除くと、大きな割合の差異はありませんでした。
- 構想区域別では、「例年どおり受診した」の割合が伊賀地域は75.0%で最も高く、津地域は66.8%で最も低くなっています。逆に、「例年受診していたが、コロナ禍では受診を控えていた」の割合は、伊賀地域では7.5%と最も低く、津地域で14.2%と最も高くなっています。
- 世帯類型別では、「例年どおり受診した」の割合が単独世帯で66.0%と最も低く、一世代世帯で72.4%と最も高くなっています。

【健康診断等の受診状況の変化《属性別》】

- 例年どおり受診した
- 例年受診していたが、コロナ禍では受診を控えていた
- 例年受診しておらず、コロナ禍も受診していない
- 未回答



8. 受診状況の変化について

Q 令和5年5月8日（感染症法上の新型コロナウイルスの位置づけが5類感染症へ変更）以降の受診状況に変化はありますか。

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率
1	5月8日前後で変化はなく、受診は控えている	396	17.4%
2	5月8日前後で変化はなく、受診している（または予定している）	1,619	71.1%
3	5月8日以前は受診を控えていたが、以降は受診している（または予定している）	228	10.0%
4	未回答	33	1.4%

○感染症法上の新型コロナウイルスの位置づけが5類感染症へ変更した後の受診状況の変化について、「5月8日前後で変化はなく、受診している（または予定している）」の割合が71.1%と最も高くなっています。

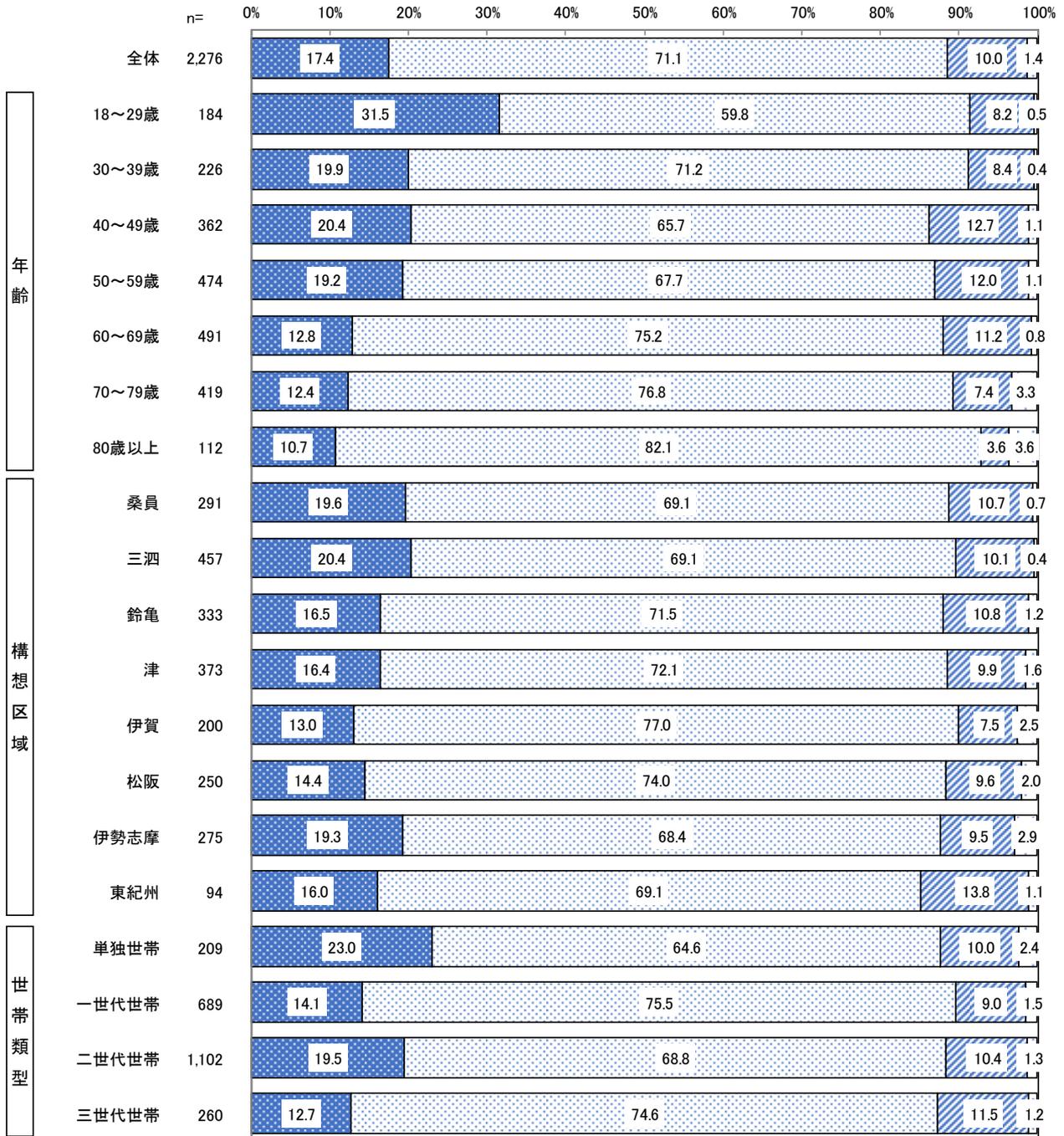
○年齢別では、「5月8日前後で変化はなく、受診は控えている」の割合はおおむね年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。また、「5月8日前後で変化はなく、受診している（または予定している）」の割合は80歳以上で82.1%と最も高くなっています。

○構想区域別では、「5月8日前後で変化はなく、受診は控えている」の割合は三泗地域で20.4%と最も高く、伊賀地域で13.0%と最も低くなっています。

○世帯類型別では、「5月8日前後で変化はなく、受診は控えている」の割合は単独世帯で23.0%と最も高くなっています。また、「5月8日前後で変化はなく、受診している（または予定している）」の割合は一世代世帯で75.5%と最も高くなっています。

【受診状況に変化《属性別》】

- 5月8日前後で変化はなく、受診は控えている
- 5月8日前後で変化はなく、受診している(または予定している)
- 5月8日以前は受診を控えていたが、以降は受診している(または予定している)
- 未回答



9. 地域の医療に対する満足度について

Q お住まいの地域の医療について満足していますか。

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率
1	満足している	351	15.4%
2	まあまあ満足している	1,193	52.4%
3	あまり満足していない	369	16.2%
4	満足していない	168	7.4%
5	わからない	179	7.9%
6	未回答	16	0.7%

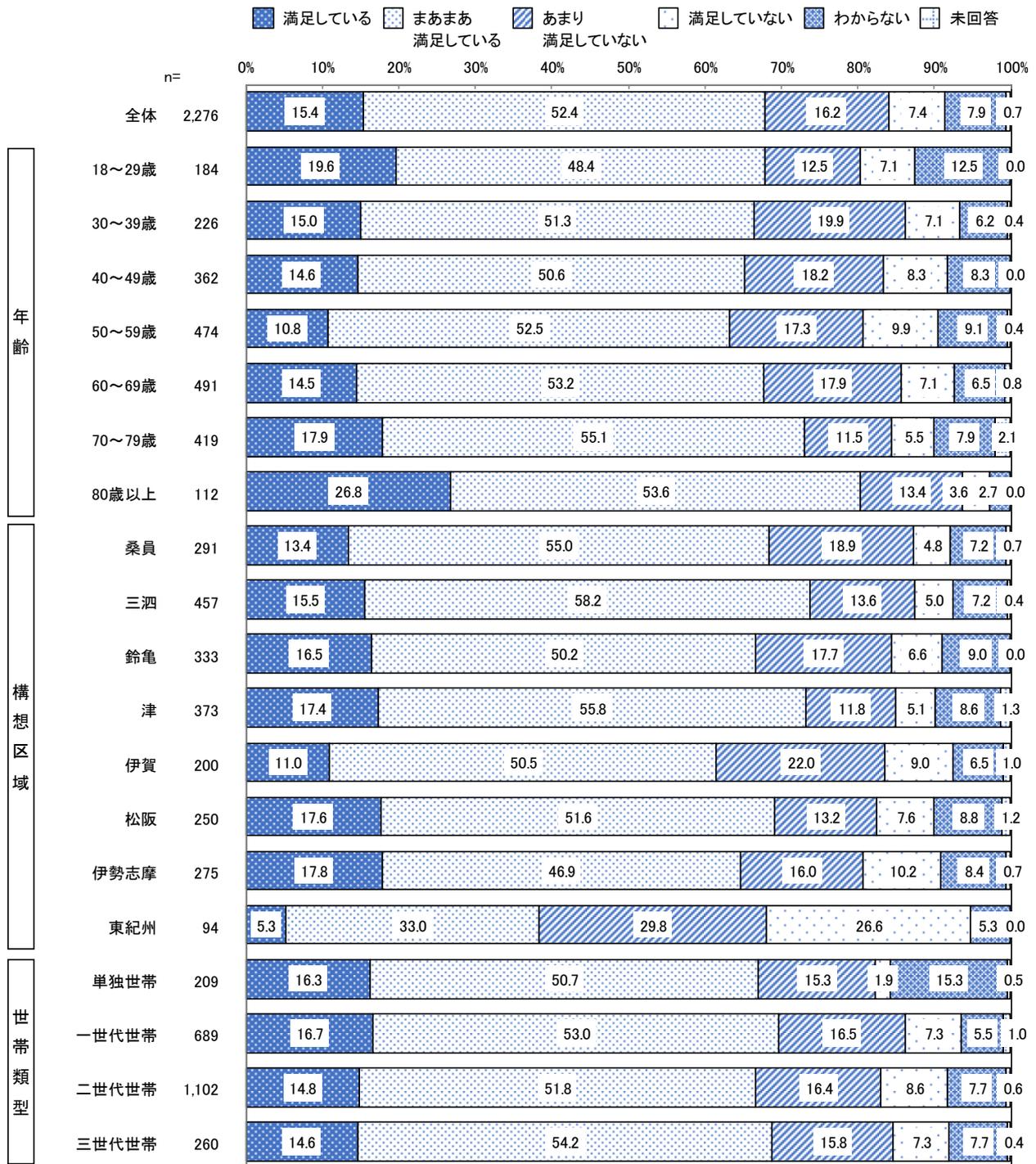
○地域の医療の満足度について、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合は67.8%となっています。また、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合は23.6%となっています。

○年齢別では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合では50歳代以降で年代が上がるにつれて高くなる傾向があります。また、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合は、50歳代、30歳代、40歳代の順に高くなっています。

○構想区域別では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合は三泗地域で73.7%と最も高く、伊賀地域で61.5%と最も低くなっています。また、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合は伊賀地域で31.0%と最も高くなっています。

○世帯類型別では、各割合に大きな差異はありませんでした。

【地域の医療に対する満足度《属性別》】



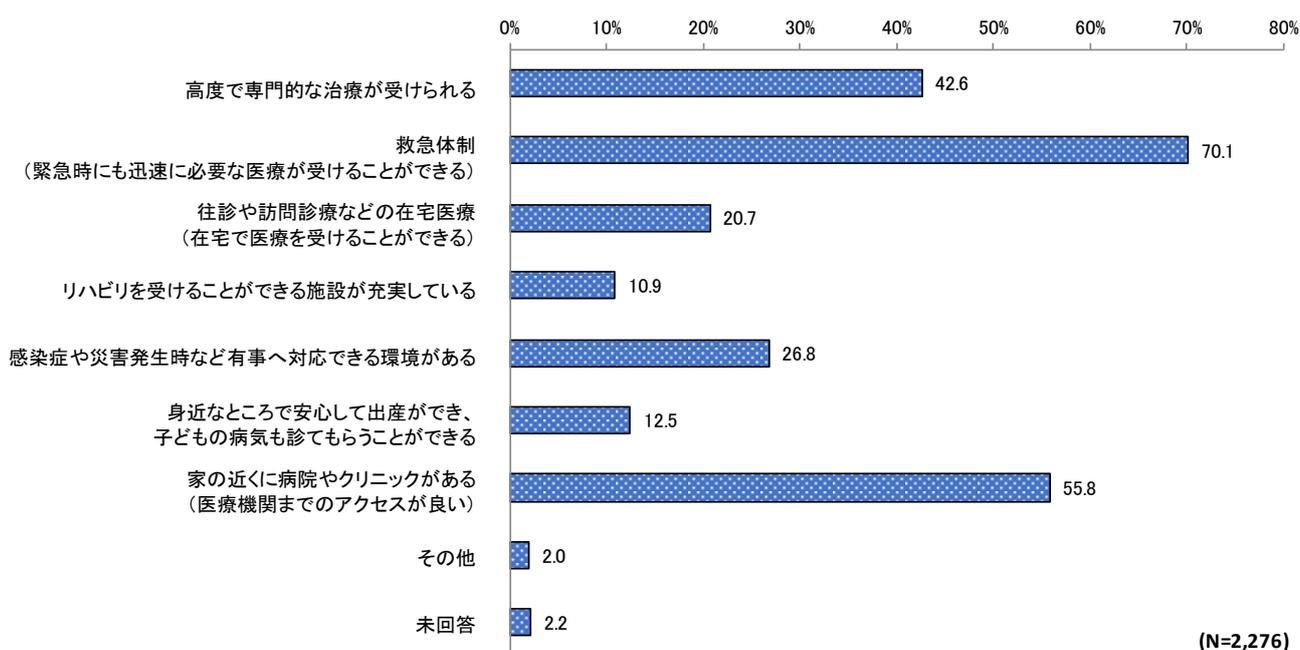
10. 地域医療において重視することについて

Q 地域の医療の充足度を測るうえで、あなたが重視するものについて、当てはまるものは何ですか。（3つまで選択可）

(n=2,276)

	選択肢	回答数	回答率
1	高度で専門的な治療が受けられる	970	42.6%
2	救急体制 (緊急時にも迅速に必要な医療が受けられることができる)	1,595	70.1%
3	往診や訪問診療などの在宅医療 (在宅で医療を受けられることができる)	470	20.7%
4	リハビリを受けられることができる施設が充実している	248	10.9%
5	感染症や災害発生時など有事へ対応できる環境がある	610	26.8%
6	身近なところで安心して出産ができ、子供の病気も診てもらえることができる	285	12.5%
7	家の近くに病院やクリニックがある (医療機関までのアクセスが良い)	1,269	55.8%
8	その他	46	2.0%
9	未回答	51	2.2%

【地域医療において重視すること】



医療に関する県民の意識調査 調査票

本調査にご協力いただき、ありがとうございます。

調査は4ページ目まで（この用紙のおもて・うらの両面）ありますので、お手数ですが、最後までご回答をお願いいたします。

1. あなた自身について

問1：年齢を記入してください。（令和5（2023）年1月1日現在の満年齢を記入してください。）

 歳

問2：あなたのお住まいの市町を記入してください。（令和5（2023）年1月1日現在の住民登録をしている市町名を記入してください。）

 市・町

問3：あなたが現在、一緒に住んでみえるご家族は、次のうちどなたですか。あてはまる方をすべてお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 同居の家族はいない | 2 あなたの配偶者（夫または妻） |
| 3 あなたの子ども | 4 あなたの父母（義父母を含む） |
| 5 あなたの祖父母（義祖父母を含む） | 6 あなたの孫 |
| 7 あなたの兄弟姉妹（義兄弟姉妹を含む） | |
| 8 その他（具体的に： | ） |

2. 地域医療に関するあなたの意識について

（地域の医療機関の情報について）

問4：お住まいの地域にある医療機関の診療内容（診療科目や診療時間、時間外の対応など）や、予防接種や各種検診の実施などに関する情報等を、入手することができますか。

- 1 入手することができる
- 2 ある程度入手することができる
- 3 あまり入手することができない
- 4 入手することができない

次ページに続きます

(夜間や休日における対応について)

問5：夜間や休日に自分や家族などが急な発熱や体調不良になった場合、どのように対応すればよいか知っていますか。(1つだけに○)

- 1 知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 知らない



三重県救急医療情報センターコールセンター ☎059-229-1199

救急車を呼ぶほどではないけれど、どうしてもすぐに治療を受けたいときに、「今、診てもらえる医療機関」をご案内します。(24時間365日ご案内)

みえ子ども医療ダイヤル #8000

子どもの病気やけが、薬のこと等について、専門の相談員に相談できます。

受付時間：(月曜から土曜) 19時30分～翌8時

(日曜・祝日・年末年始) 8時～翌8時

対象：18歳未満の子どもおよびその家族

※ダイヤル式、ひかり電話、IP電話など、「#8000」を利用できない場合は、TEL059-232-9955まで

(医療機関の役割分担について)

問6：お住まいの地域にある医療機関が役割分担※していることを知っていますか。(1つだけに○)

- 1 知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 知らない

※ 病気やけがの初期の治療を行う診療所、高度な技術や機械が必要な病気やけがの治療を行う病院、リハビリを中心とした病院、長期療養のための病院など、診療所や病院によって役割が分担されています。

3. コロナ禍前後での地域医療に関するあなたの意識について

※ 「コロナ禍」とは、令和2年1月から令和5年5月7日までの期間を指すこととします。

問7：コロナ禍を通じて、地域の医療に対する関心度に変化はありましたか。(1つだけに○)

- 1 元々関心があった
- 2 元々関心がなかったが、コロナ禍を通じて関心を持つようになった
- 3 元々関心があったが、コロナ禍を通じて関心がなくなった
- 4 元々関心がなく、コロナ禍を通じても変化していない

問8：コロナ禍において、医療機関を受診する回数は、コロナ禍前と比べて変化がありましたか。(1つだけに○)

- 1 コロナ流行以前とコロナ禍で変化なく受診していた。
- 2 コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が減った
- 3 コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が増えた
- 4 以前から医療機関は受診していなかった

問9：問8で「2 コロナ流行以前に比べてコロナ禍では受診回数が減った」と回答した方にお聞きします。受診回数が減った理由として当てはまるものを、次の中から2つまでお選びください。(あてはまるものに○)

- 1 医療機関で新型コロナウイルスに感染する不安があったから
- 2 医療機関が大変そうであったから
- 3 軽症の方は受診を控えてほしいと呼びかけがあったから
- 4 受診できる医療機関を見つけることができなかったから
- 5 感染対策をしたり、外出を控えたりしたため、病気になることが少なくなったから

問10：コロナ禍において、健康診断、人間ドッグ、がん検診、特定健診等の受診状況に変化はありましたか。(1つだけに○)

- 1 例年どおり受診した
- 2 例年受診していたが、コロナ禍では受診を控えていた
- 3 例年受診しておらず、コロナ禍も受診していない

次ページに続きます

問 11：令和5年5月8日（感染症法上の新型コロナウイルスの位置づけが5類感染症へ変更）以降の受診状況に変化はありますか。（1つだけに○）

- 1 5月8日前後で変化はなく、受診は控えている
- 2 5月8日前後で変化はなく、受診している（または予定している）
- 3 5月8日以前は受診を控えていたが、以降は受診している（または予定している）

4. お住まいの地域で期待する医療について

問 12：お住まいの地域の医療について満足していますか。（1つだけに○）

- 1 満足している
- 2 まあまあ満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 満足していない
- 5 わからない

問 13：地域の医療の充足度を測るうえで、あなたが重視するものについて、当てはまるものを、次の中から3つまでお選びください。（あてはまるものに○）

- 1 高度で専門的な治療が受けられる
- 2 救急体制（緊急時にも迅速に必要な医療が受けられることができる）
- 3 往診や訪問診療などの在宅医療（在宅で医療を受けられることができる）
- 4 リハビリを受けられることができる施設が充実している
- 5 感染症や災害発生時など有事へ対応できる環境がある
- 6 身近なところで安心して出産ができ、子供の病気も診てもらえることができる
- 7 家の近くに病院やクリニックがある（医療機関までのアクセスが良い）
- 8 その他（ ）

問 14：三重県の医療に対するご意見がございましたら、自由にご記載ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。